

18区役所初！災害備蓄食を保管した自動販売機を導入しました
～都筑区総合庁舎 災害救援自動販売機、おむつ対応自動販売機の設置について～

都筑区では災害に強いまちづくりや誰もが安心して子育てできるまちづくりを進めています。区役所内には、「横浜市ひとり親家庭福祉会（※）」様が設置されている自動販売機がありますが、災害救援機能を備え、来庁者が子ども用おむつを購入できる自動販売機への変更について相談を行ってきました。

この度、1階区民ホールに、これらの機能を備えた自動販売機計3台が導入されました。あわせて、自動販売機に併設するリサイクルボックスの上部を活用し、備蓄食を保管することとなりました。発災時には、これらの備蓄食を区災害対策本部が活用できるようになります。

備蓄食を保管した自動販売機の導入は、18区役所で初めての取組になります。

引き続き、民間事業者との協働・共創により、安全・安心な街、子育てしやすい街の実現に向けて取り組んでいきます。

※横浜市ひとり親家庭福祉会：

市内にお住まいのひとり親家庭等の自立支援にかかる事業を行い、その生活の安定とこどもの養育環境の向上に寄与することを目的とする団体。※裏面「2 導入の経緯」参照

1 概要

(1) 運用開始日

令和7年6月9日（月）

(2) 設置場所・利用可能時間

都筑区庁舎1階区民ホール 3か所・8時～22時

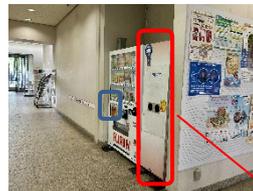
(3) 内容

- ①災害救援自動販売機 1台（停電時も商品搬出可）
 - ・飲料
- ②子ども用おむつ・飲料自動販売機 1台
 - ・子ども用おむつ、除菌ウェットシート
 - ・飲料
- ③食料・飲料自動販売機 1台
- ④リサイクルボックス 3台

長期保存食計1,680食分を備蓄。発災時には無料で区役所に避難された方や災害対策本部で活用することができます。

(4) その他

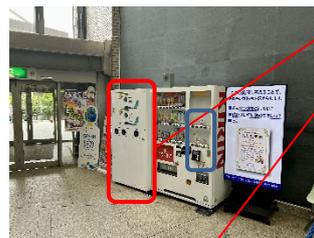
- ・発災時に停電していなければ、②子ども用おむつ・飲料自動販売機、③食料・飲料自動販売機からも、無料で商品の搬出が可能。
- ・設置及び運用にかかる本市費用負担はありません。
- ・リサイクルボックスを活用し、本市、都筑区の広報（GREEN×EXPO 2027等）を実施します。



① 災害救援自動販売機
※駐車場出入口側



※災害停電時にも商品搬出が可能であることを示す表示



② 子ども用おむつ・飲料自販機
※センター南駅側出入口側



※子ども用おむつ



③ 食料・飲料自販機
※エスカレーター下



※カップ麺等食品類

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 導入の経緯

- ・「母子及び父子並びに寡婦福祉法」において、「地方公共団体は、母子家庭等及び寡婦の福祉を増進する責務を有する」ことが定められていることに基づき、都筑区役所では、「横浜市ひとり親家庭福祉会」様に対して、売店及び自動販売機の設置について目的外使用許可を行ってまいりました。
- ・「横浜市ひとり親家庭福祉会」様では売店及び3台の飲料自動販売機を設置し運用されてまいりました。
- ・昨今の発災時対応の重要性が高まる状況等を受け、区役所から「横浜市ひとり親家庭福祉会」様に、災害救援機能や子ども用おむつ対応の自動販売機への変更を相談しました。その後、区役所、「横浜市ひとり親家庭福祉会」様、及び自動販売機の運用を受託している「東京キリンビバレッジサービス(株)」様の3者で導入内容の検討を進めました。
- ・検討を進める中で、土砂災害警戒情報発表時に区民の皆様の避難場所となり、大規模震災発災時等に区災害対策本部となる区役所に対して、災害救援自動販売機、おむつ対応自動販売機に加えて、リサイクルボックスを活用した災害備蓄食提供のご提案が「横浜市ひとり親家庭福祉会」様及び「東京キリンビバレッジサービス(株)」様からあり、この度の導入に至りました。

このことは区役所を利用される皆様の利便性向上だけではなく、区役所の避難所としての環境向上、区災害対策本部における災害対応能力の向上の双方につながる取組となります。

お問合せ先

(自販機設置の全般について)

都筑区総務課長 江口 昌克 Tel 045-948-2210

(横浜市ひとり親家庭福祉会の活動内容について)

横浜市ひとり親家庭福祉会 清水 典昭 Tel 045-947-4625



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

